阿武隈川發電所落盤生埋め椿事

全山に凄壯の氣漲り

大瀧山を搖がす轟音

三百名の從業員を總動員

必至の救援作業續く

【夕刊別冊】福島發電所の阿武隈川第二發電所建設工事は、去る六日午後四時半頃、第三區工事場三百名の從業員を總動員して、大瀧山の山腹を貫通する延長一千二百米の導水隧道の内、既に掘鑿を終つた一千一百米地點から、更に掘鑿を續けて來たが、同日午後四時半頃、突如として、坑内作業のことゝて多人數により一時に發掘するといふ譯にもゆかず、昼夜兼行で作業を續けても一日三十五米位しか掘進する事が出來ず救援までには少くとも一週間を要するものと見られてゐるし、その間に於ける從業員の安否が氣遣はれてゐたが、同日午後七時半頃、坑内の一部が崩壊して、從業員十七名が生埋めとなつてゐるとの報告に接し、直ちに救援隊を組織して、ダイナマイトのさく裂する轟音が現場の大瀧山を震はしてゐるが、なほ數時間にわたり續行される模様で、救援工事場は、全く混乱の巷と化してゐる。

慘事現場より

（富澤上より）狹いトンネル内の崩落現場で救助作業、慘事の現場より東方二丁程離れた一方からパイプを入れ、内部との連絡を取らうと山の取崩し作業、事務所前で待機してゐる救護班

十七名全部の生存確實

午後四時、內部との連絡成る

十七人無事！　内部との聯絡成る　阿武隈川發電所の生埋め救援隊は何より先き内部の安否を知ることに全力を注いだ結果、六日午後四時に至り空氣パイプに針金を差し込んで試みた外部の信號が内部の遭難者に通じハッキリした通話をすることに成功、之に依り生埋めされた十七名は全部生きて居る事が判明救助に憂色深き全山は見る〳〵中に生色を増して來た

全智全能擧げて救助に努める

急行の猪熊副社長談

現場　（福島發電所にて）

あなたこと、（ラヂオ聲の感謝）いまこゝを去るに當つて私の外出先からも、又現場からも、一刻も早く救援を急いでゐるくれ、救援隊を急いでゐるから、すぐ歸つて來るやうにと、（ラヂオ聲の感謝）

勇氣　一層勇氣を出して、（ラヂオ聲の感謝）

先月中にも三名生埋め

家族も安堵

三方から掘り進む

命の綱のパイプ

中村消防部

警察現場へ

大久保新署長

入山炭礦社員

一橋上等兵戰死

評判の親孝行青年

戰地の便り

野地中尉

石井二等兵曹

後藤芳太郎君

突然

生命

高城村事件

上告棄却

ダットサン大暴れ

乘客四名が重輕傷

根本水兵戰傷（石城出身）

武運長久祈願

東京大相撲

輕傷

青田に大熊

萬　一品　下天

キッコーマン醤油

印の丸は無敵の本日敵無は印の本日

キッコーマンは健康日本の印

社會式株知會日野　醸用物飲內會